

*PRI/BRI Switcher* 設定ツール  
**PBSWTOOL**  
取扱説明書

- Microsoft および Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- IBM および PC/AT は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- MMX および Pentium は Intel Corporation の登録商標、または商標です。

第 1 版	2004/8	
第 2 版	2006/8	P.1 動作環境 「対応 OS」 変更
第 3 版	2007/9	V1.2.0 機能説明追加
第 4 版	2009/8	V2.0.1 機能説明追加
第 5 版	2009/10	P.8 注意書き追加

- 権利者の許諾を得ることなく、このソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製することを禁止します。
- このソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取替え致します。それ以外の責はご容赦ください。
- このソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

# 目次

動作環境.....	1
第 1 章 はじめに.....	2
インストールの前に.....	2
PBSWTOOL のインストール.....	2
PBSWTOOL のアンインストール.....	4
第 2 章 操作方法.....	5
ご使用になる前に.....	5
PBSWTOOL の起動と終了.....	5
操作画面の見方と各部の働き.....	6

## 動作環境

- 対応 OS

Microsoft Windows XP

- ハードウェア環境

MMX テクノロジ Pentium 150MHz 以上のマイクロプロセッサ(または互換プロセッサ)を搭載し、CD-ROM ドライブ、ネットワークポートを有する IBM PC/AT 互換機

- メモリ

128MB 以上

- ハードディスク

100MB 以上のハードディスク空き容量

- ディスプレイ

SVGA(800×600 ピクセル)以上

必要なメモリ容量、ハードディスク容量はシステム環境によって異なる場合があります。

# 第 1 章 はじめに

PRI/BRI Switcher をお使い頂き、誠にありがとうございます。  
PBSWTOOL は PRI/BRI Switcher の設定変更を行うためのソフトウェアです。

第 1 章では、PBSWTOOL のインストール手順について説明します。

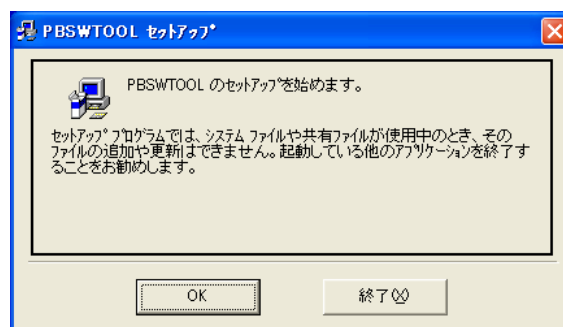
## インストールの前に

PBSWTOOL をインストールする前に、1 ページの「動作環境」を参照して、インストールするコンピュータの動作環境を確認してください。  
また、旧バージョンの PBSWTOOL がインストールされている場合は、4 ページの「アンインストール」を参照して、旧バージョンを削除した後インストールしてください。

## PBSWTOOL のインストール

1. インストールプログラムを起動する  
起動中のアプリケーションを全て終了してください。  
インストール後、コンピュータの再起動が必要になる場合がありますので、編集中の書類を全て保存してください。  
PBSWTOOL のセットアップ CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。  
「マイコンピュータ」から、挿入した CD-ROM の setup フォルダにある「setup.exe」プログラムを起動してください。

2. セットアップを開始する  
PBSWTOOL のセットアップが開始され、右の画面が表示されます。  
「OK」ボタンを押してください。

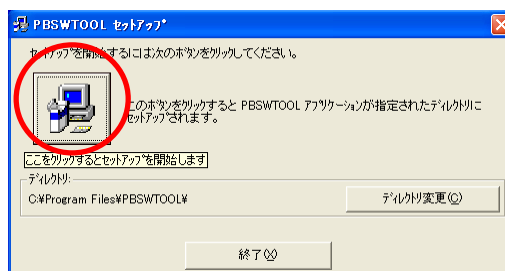


### 3. インストール先を選択する

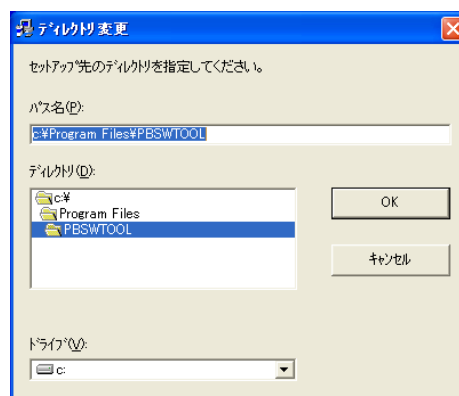
インストール先を選択する画面が表示されます。

通常

「C:\Program Files\PBSWTOOL\」  
にプログラムがインストールされます。  
インストール先を変更する場合は  
「ディレクトリ変更」ボタンを押して  
ください。



ディレクトリ(フォルダ)変更画面で  
プログラムをインストールするフォルダを  
選択し、「OK」ボタンを押してください。  
インストール先が決定したら、セット  
アップのボタンを押してください。



### 4. コピーの開始

プログラムをコンピュータにコピーします。

### 5. インストールの完了

インストールが完了したことをお知らせする画面が  
表示されます。

「OK」ボタンを押すとインストールが完了します。



## PBSWTOOL のアンインストール

### 1. プログラムの終了

PBSWTOOL を終了します。

### 2. プログラムの削除

Windows の「スタート」メニューから「設定」→「コントロールパネル」の順に選択します。

「プログラムの追加と削除」を起動します。

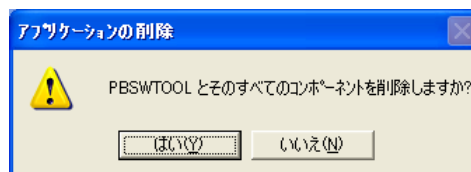
アプリケーション一覧から PBSWTOOL を選択し、[変更と削除] ボタンを押してください。



### 3. 削除の確認

PBSWTOOL の削除を確認する画面が表示されます。

削除する場合は「はい」ボタンを押してください。



## 第2章 操作方法

第2章では、PBSWTOOLの操作方法について説明します。

### ご使用になる前に

PBSWTOOLは、PRI/BRI Switcherの設定を行うためのソフトウェアです。PBSWTOOLのインストールされたPCをPRI/BRI SwitcherとLAN接続し、PRI/BRI Switcherの電源がONになっていることを確認してください。

### PBSWTOOLの起動と終了

#### 1. プログラムの起動

Windowsの「スタート」メニューから「プログラム」→「PBSWTOOL」の順に選択します。下のような起動画面が表示されます。

#### ●接続

通信先IPアドレスとパスワードを設定し「受信」又は「送信」ボタンを押してください。

デフォルト値 通信先IPアドレス：192.168.0.1 パスワード：switcher（全て半角小文字）

	B1	B2	回線仕様	着グループ
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	P-MPI呼毎起動	1
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	P-MPI呼毎起動	1
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	P-MPI呼毎起動	1
4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	P-MPI呼毎起動	1
5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	P-MPI呼毎起動	1
6	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	P-MPI呼毎起動	1
7	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	P-MPI呼毎起動	1
8	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	P-MPI呼毎起動	1
9	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	P-MPI呼毎起動	1
10	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	P-MPI呼毎起動	1
11	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	P-MPI呼毎起動	1
12	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	P-MPI呼毎起動	1

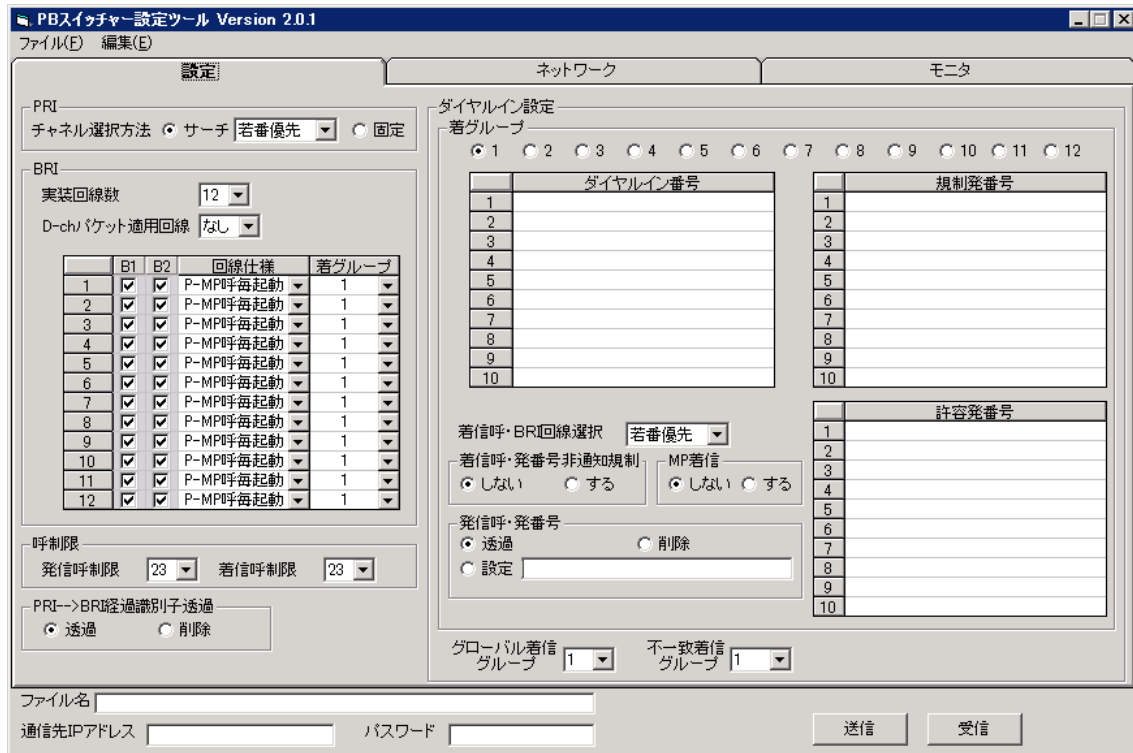
#### 2. プログラムの終了

画面右上の×ボタンを押してください。



# 操作画面の見方と各部の働き

## 1. 設定画面



### ●PRI

#### チャンネル選択方法

サーチ 着信時の BRI ポートを選択する順番を指定します。

- ・ 若番優先 常にポート番号の小さい番号を捕捉します。
- ・ ラウンドロビン 把握するポートをラウンドロビンします。

固定 PRI 回線の B チャンネルと BRI 回線のポートの割り当てが固定となります。例：PRI-B3⇔BRI ポート 2 B1

### ●BRI

実装回線数：12 BRI12 回線タイプの装置の場合こちらを選択します。

4 BRI4 回線タイプの装置の場合こちらを選択します。

### ●D-ch パケット適用回線 (1~12)

PRI の D チャンネルを使用してパケット通信を行う場合、パケット通信を行う BRI ポートを選択します。

### ●BRI ポート別設定

○B1、B2 チェック BOX チェックされているチャンネルが有効となります。

○回線仕様設定 P-MP 呼毎起動、P-MP 常時起動、P-P 常時起動

接続される端末使用に合わせて選択してください。

○着グループ設定 着信時のグループを設定します。

- 呼制限 (1~23)
  - 発信呼制限 発信呼の最大チャネル数を指定します。
  - 着信呼制限 着信呼の最大チャネル数を指定します。
  
- PRI——> BRI 経過識別子透過
  - 透過 PRI 回線からの経過識別子を BRI 側に透過します。
  - 削除 PRI 回線からの経過識別子を BRI 側に透過せず削除します。
  
- ダイヤルイン設定
 

ダイヤルイン着信時に、BRI 回線のどのグループに着信させるかを設定します。

設定出来る最大グループは 12 グループとなります。
  
- 規制番号
 

発番号による着呼の規制を行います。

着信規制をかけたい電話番号を記述します。  
(設定は前方一致となります。)
  
- 許容番号
 

発番号による着呼の許容を行います。

許容番号が空白の場合は、全て許容となります。
  
- 着信呼 BRI 回線選択 (若番優先・ラウンドロビン)
  
- 着信呼発番号非通知規制 (しない・する)
 

PRI 回線からの着信呼で非通知設定の場合を規制するかの設定です。
  
- MP 着信
  - しない BRI の Multilink Protocol (128k 接続) に対応しません。
  - する BRI の Multilink Protocol (128k 接続) に対応します。
  
- 発信呼・発番号
 

発信時の発番号を変更するかの設定です。

透過：BRI ポートからの発番号をそのまま PRI ポートへ送じます。

削除：BRI ポートからの発番号を削除して PRI ポートへ送じます。

設定：設定された発番号を PRI ポートへ送じます。
  
- グローバル着信グループ設定
 

PRI 回線からのグローバル着信呼を BRI 回線のどのグループに着信させるかを設定します。
  
- 不一致着信グループ設定
 

ダイヤルイン設定のテーブルに無いダイヤルイン着信呼を BRI 回線のどのグループに着信させるかを設定します。

## 2. ネットワーク設定画面

PBスイッチャー設定ツール Version 2.0.1  
ファイル(F) 編集(E)

設定 ネットワーク モニタ

装置IPアドレス 192 168 0 1  
サブネットマスク 255 255 255 0  
デフォルトゲートウェイ 0 0 0 0

MACアドレス  
ROMバージョン

装置側パスワードの変更

ファイル名  
通信先IPアドレス パスワード 送信 受信

- 装置 IP アドレス

本装置の IP アドレスを設定します。

※IP アドレスの設定を反映させる為には、装置の再起動をおこなってください。

- サブネットマスク

サブネットマスクを設定します。

- デフォルトゲートウェイ

デフォルトゲートウェイの IP アドレスを設定します。

- MAC アドレス

本装置のマックアドレスを表示します。

- ROM バージョン

本装置のファームウェアバージョンを表示します。  
表示は、データの送受信をした後に表示されます。

- 装置側パスワードの変更

ログインパスワードを変更することができます。

### 3. モニタ設定画面



#### BRI 回線モニタ

##### ●BRI リンク表示

L1：レイヤ1 起動時に点灯します。

L2：レイヤ2 起動時に点灯します。

##### ●呼状態

各チャンネル・B1/B2 の呼状態を表示します。

##### ●着番号

呼設定メッセージに着番号が含まれる場合に番号を表示します。

##### ●発番号

呼設定メッセージに発番号が含まれる場合に番号を表示します。

##### ●方向

発信か着信かを表示します。

##### ●PRI

接続中 PRI 回線の B チャンネル番号を表示します。

## PRI 回線モニタ

### ●PRI リンク表示

L1：レイヤ1 起動時に点灯します。

L2：レイヤ2 起動時に点灯します。

### ●B1～B23

使用されている B チャンネル番号が点灯します。

## モニタの開始と停止

開始：モニタを開始します。

開始と同時にカレントフォルダーにモニタしたログが保存されます。

ファイル名は、以下のようになります。

PBSWLOGyyyyymmddhhmmss.CSV

yyyyymmddhhmmss：モニタを開始した時点のタイムスタンプ値  
(年月日時分秒)

停止：モニタ機能とログ機能が停止します。

*PRI/BRI Switcher* 設定ツール

PBSWTOOL 取扱説明書

**甲賀電子株式会社**

〒520-3047 滋賀県栗東市手原 5 丁目 8-10

TEL : 077-552-5123 FAX : 077-552-5121

e-mail : support@koga.co.jp

URL : <http://www.koga.co.jp>